

越乃大社

鵜坂神社

会長 岡村修
奉賛会 岡村

発行 者 鵜坂山内
社 伸

編集 者 蒲田政彦

平成二十七年年度氏子総代会

桜も葉桜となり、新緑が眩しく感じられる五月十六日(土) 十四時より、氏子総代会が行われました。岡村奉賛会会長の挨拶後、議事が進行されました。

- 一・平成二十六年年度決算報告
- 二・平成二十七年年度社寺運営計画



岡村会長の挨拶

祭礼

大祭

例大祭 四月二十九日

除蝗祭 夏祭 六月十六日

新嘗祭 大麻・神符頒布祭 十一月二十三日

祈年祭

鎮火祭 二月二十三日

中祭

元旦祭 一月一日

元始祭 一月三日

建国祭 二月十一日

顕彰祭・慰霊祭 六月十六日

明治祭 十一月三日

天皇祭 十二月二十三日

小祭

毎月二十三日 月次祭

大祓 六月三十日

除夜祭 十二月三十日

日拝 毎日朝夕

選任

三・平成二十七年年度社寺役員

境内清掃区分図

五・平成二十七年年度予算審議

各地区の境内清掃に付いて

は、新しい自治会が出来ており、この区分図には入っておらず、近くの自治体に入るか検討することになりました。六・神社改修の資金調達について

改修資金については、社寺責任役員より各自治会の総代に説明文を提出し、総代が説明し易いようにする事になりました。

週刊誌に紹介

週刊日本の神社編集部からの依頼で3月から連絡を取っていた鵜坂神社を紹介した本が発刊されました。富山県の幾つもの神社が紹介されています。

社伝によると、崇神天皇の御代、北陸道將軍・大彦命により勧請されたのが創祀とされ、社殿の創立は白雉2年(651)と伝わる。「万葉集」に大伴家持が詠んだ鵜坂川の歌があるが、その川は現在、同社のそばを流れる神通川とされており、境内と堤防には家持の歌碑もある。平安時代には神階が従三位まで昇り、延喜式では大社に列せられ、明治6年(1873)の社格制定の折には具社に定められた。主祭神は崇神天皇、御志古泥神で、第6代天皇と皇后の大姫神とされている。そのほか、鵜坂姉姫神・鵜坂妻姫神・大彦命を祀っている。



表紙

とされ、社殿の創立は白雉2年(651)と伝わる。「万葉集」の大伴家持が詠んだ鵜坂川の歌があるが、その川は現在、同社のそばを流れる神通川とされており、境内と堤防には家持の歌碑もある。平安時代には神階が従三位まで昇り、延喜式では大社に列せられ、明治6年(1873)の社格制定の折には具社に定められた。主祭神は崇神天皇、御志古泥神で、第6代天皇と皇后の夫婦神とされている。そのほか、鵜坂姉姫神・鵜坂妻姫神・大彦命を祭っている。

安産・縁結びのご神徳で知られる越の大社「射水神社」

安産・縁結びのご神徳で知られる越の大社「射水神社」として紹介されたその内容は、「社伝によると、崇神天皇の御代、北陸道將軍・大彦命により勧請されたのが創祀とされ、社殿の創立は白雉2年(651)と伝わる。「万葉集」に大伴家持が詠んだ鵜坂川の歌があるが、その川は現在、同社のそばを流れる神通川とされており、境内と堤防には家持の歌碑もある。平安時代には神階が従三位まで昇り、延喜式では大社に列せられ、明治6年(1873)の社格制定の折には具社に定められた。主祭神は崇神天皇、御志古泥神で、第6代天皇と皇后の大姫神とされている。そのほか、鵜坂姉姫神・鵜坂妻姫神・大彦命を祀っている。

平安朝の公家の遊びがもとになったという日本五大奇祭「尻打祭」で有名であったが、現在では行われていない。参道脇には疣や痔に霊験があるとされる「疣石」があり、安産・縁結びのご神徳でも人気の高い社である。」と記されています。

表紙の通り射水神社が大きく紹介されており、その規模の大きさに改めて感心致しました。

4 鵜坂神社



所在地 富山県中野町鵜坂212
アクセス JR高山本線中島駅より徒歩約28分
ご祭神 崇神天皇神、御志古泥神、鵜坂姉姫神、鵜坂妻姫神、大彦命
社伝 崇神天皇の御代
電話番号 076-491-1615

安産・縁結びのご神徳で知られる越の大社